

■司会 星山 晃 <熊本県> 阿蘇教育事務所社会教育主事産山村教育委員会派遣
小副川ヨシエ<佐賀県> ボランティアグループ「クリエイト」代表

5.17

1. 県立生涯学習センターにおける学習ボランティアの実際

14:15~14:40

ーアバンセ サポーターの試みー

瀧田 桂子<佐賀県> 佐賀県立女性センター・生涯学習センター「アバンセ」サポーター代表
「女性センター」「生涯学習センター」を併設している県立施設「アバンセ」。そこで学習をしている学習者で、施設ボランティア「アバンセ サポーター」が結成された。学習ボランティアであり、学習者である発表者が、結成されるまでの経緯、実際に行っている活動、課題について発表する。

2. 女性のふるさと再発見「石橋案内人」の試み

14:40~15:05

河野 哲子<大分県> 「石橋案内人」代表

地区公民館で開催された「女性スクール」を1年間受講。「ふるさと再発見」をテーマに、日本一の数を誇る地域の石橋について学習を行った。その後、働く傍ら、年間平均13回程度の石橋案内をボランティアで行っている。石橋への先人の思い、石工の思いを中心に、女性の感性で、楽しく、優雅に石橋を案内。これまでの活動内容、成果、課題について発表する。

～ ティータイム ～

15:05~15:40

3. 自主保育サークル「どーなつつくらぶ」の活動と今後の課題

15:40~16:05

五十嵐道子<長崎県> 「どーなつつくらぶ」代表

母親と子どもが楽しく遊ぶことを目的として結成。親子がペアで参加し、母親も子どももそれぞれに交流。母親の相談相手や話し相手、子どもの遊び相手の確保に大きく貢献している。次第に地域との関わりにも目を向けはじめ、現在では、子どものためのフェスティバルや老人のデイケアサービスへ出かけたりと活動の場を広げている。活動内容、成果、これからの課題について発表を行う。

4. 女性の村づくり「第二期四万十川源流塾」の取り組み

16:05~16:30

岡田 りえ<高知県> 大野見村「第二期四万十川源流塾」代表

「第二期四万十川源流塾」は、会員25名の女性だけの自主活動グループで、以下の4班編成である。1班「ぬくもりのある村づくり」伝統文化、生活文化の保存、2班「快適生活の村づくり」環境問題ーリサイクル・ゴミの分別収集等、3班「希望のある村づくり」村のマップづくり等、4班「夢の語れる村づくり」家庭教育学級等。地域おこしの女性リーダーとして、村の発展に寄与することも考えている。

5. 総括討論

16:30~17:00